至高の宋磁、究極の清朝。

静嘉堂@丸の内 開館1周年記念特別展

二つの頂
―宋磁と清朝官窯

First Anniversary Exhibition

Twin Peaks:

The Sublime Art of Song Ceramics
and the Sophistication of Official Kilns of Qing

《五彩万寿桃文盤》「大清康熙年製」銘　景德鎮官窯
清時代・康熙年間（1662～1722）
Dish with design for celebration of the Emperor's birthday, with letters of *"Wanshou"* (Emperor's birthday) and peaches, *wucai* overglaze enamels, Qing dynasty, Kangxi mark and period

2023
10|7[土]―12|17[日]

＊会期中、一部展示替えがあります。
休館日：毎週月曜日（10月9日は開館）、10月10日（火）
開館時間：午前10時～午後5時（金曜は午後6時まで）
＊入館は閉館30分前まで
入館料：一般1,500円　大高生1,000円　中学生以下無料
障がい者手帳をお持ちの方700円（同伴者1名無料）
主催：静嘉堂文庫美術館（公益財団法人 静嘉堂）

○日時指定予約優先：予約はこちらから⇨
＊当日券もあります。招待券をお持ちの方、中学生以下の方は予約不要です。

静嘉堂@丸の内
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

重要美術品《青花臙脂紅龍鳳文瓶　一対》「大清乾隆年製」銘
景德鎮官窯　清時代・乾隆年間（1736～95）
Pair of vases with design of dragons and phoenixes in underglaze blue and *yanzhihong* overglaze enamel, Qing dynasty, Qianlong mark and period

至高の宋磁、究極の清朝。

《青磁鼎形香炉》南宋官窯　南宋時代（12～13世紀）
Incense burner in shape of ritual bronze *Ding*, celadon, Southern Song Guan ware, Southern Song dynasty

静嘉堂@丸の内 開館1周年記念特別展

二つの頂
―宋磁と清朝官窯

First Anniversary Exhibition

Twin Peaks:

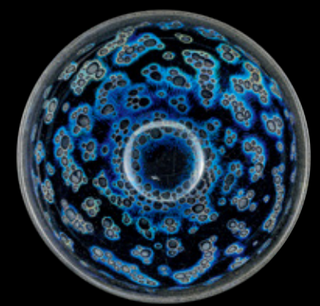
The Sublime Art of Song Ceramics
and the Sophistication of Official Kilns of Qing

2023
10|7[土]―12|17[日]

＊会期中、一部展示替えがあります。
休館日：毎週月曜日（10月9日は開館）、10月10日（火）
開館時間：午前10時～午後5時（金曜は午後6時まで）
＊入館は閉館30分前まで
入館料：一般1,500円　大高生1,000円　中学生以下無料
障がい者手帳をお持ちの方700円（同伴者1名無料）
主催：静嘉堂文庫美術館（公益財団法人 静嘉堂）

○日時指定予約優先：予約はこちらから⇨
＊当日券もあります。招待券をお持ちの方、中学生以下の方は予約不要です。

静嘉堂@丸の内
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM



国宝《曜変天目（稲葉天目）》
建窯　南宋時代（12～13世紀）
Tea bowl with black glaze, *Yōhen Tenmoku* type, Jian ware, Southern Song dynasty

二つの頂——宋磁と清朝官窯

静嘉堂@丸の内 開館1周年記念特別展

First Anniversary Exhibition

Twin Peaks:

The Sublime Art of Song Ceramics and the Sophistication of Official Kilns of Qing

至高の宋磁、究極の清朝。

本展3つの見どころ

① 荘厳なる宋磁
——中国陶磁史の古典（クラシック）を味わう

② 豊饒なる色とかたち・清朝官窯
——磁器（チャイナ）の国の最高峰・皇帝のやきものを味わい尽くす

③ 見せます！ 曜変「稲葉天目」のすべて

8000年を超える悠久の歴史をもち、陶芸技術の粋を極めた中国陶磁。その歴史上、二つの頂点といえるのが、宋代（960～1279）の陶磁器と清朝（1616～1912）の官窯磁器です。

商工業や各種技術が発達した宋代の中国では、各地で青磁や白磁、黒釉など多種多様で洗練された陶磁器が生み出されました。それらは後世「宋磁」と称えられ、「古典」として現代にまで影響を与え続けています。

また最後の王朝・清朝では、磁器の都・景徳鎮に宮廷用の陶磁器を焼造する政府直営の工房＝官窯が設置され、最高の技術と材料をもって皇帝のためのやきものが作られました。清朝最盛期、康熙・雍正・乾隆の三代の皇帝たち（在位:1662～1795）は、陶磁器への関心が高く、官窯に督陶官が派遣され、技術・意匠の両面で究極ともいうべき作品が次々と生み出されました。

静嘉堂所蔵の清朝官窯磁器には、岩崎彌之助（三菱第2代社長、1851～1908）が明治20年代という早い段階で蒐集した作品が含まれています。また20世紀初頭には彌之助の嗣子・小彌太（三菱第4代社長、1879～1945）により、日本伝世の宋磁の優品に加え、新出の宋磁や清朝官窯の名品が蒐集され、世界有数の質を誇る中国陶磁コレクションが形成されました。

本展では、南宋官窯をはじめとする静嘉堂の宋磁の名品と、清朝官窯磁器から青花・五彩・粉彩・単色釉の優品を精選し展示します。

《白地黒掻落牡丹文枕》磁州窯　北宋時代（12世紀）
Cloud-shaped pillow with carved design of peony spray, iron-black slip on the white slipped body covered with transparent glaze, Cizhou ware, Northern Song dynasty

重要文化財《白磁刻花蓮花文輪花鉢》定窯　北宋～金時代（12世紀）
Lobed bowl with carved lotus design, white porcelain, Ding ware, Northern Song-Jin dynasty

重要文化財《青磁貼花牡丹唐草文深鉢》龍泉窯　南宋～元時代（13～14世紀）
Covered bowl with applied peony scroll design, celadon, Longquan ware, Southern Song-Yuan dynasty

国宝《曜変天目（稲葉天目）および尼崎台》建窯　南宋時代（12～13世紀）
Tea bowl with black glaze, *Yōhen Tenmoku* type, Jian ware, Southern Song dynasty

《豆彩翠竹文碗　一対》「大清雍正年製」銘　景德鎮官窯
清時代・雍正年間（1723～35）
Pair of bowls with design of bamboo grove in *doucai* overglaze enamels, Qing dynasty, Yongzheng mark and period

《五彩百子図鉢》「大清康熙年製」銘　景德鎮官窯
清時代・康熙年間（1662～1722）
Bowl with design of "One Hundred Boys", *wucai* overglaze enamels, Qing dynasty, Kangxi mark and period

《粉彩百鹿図壺》「大清乾隆年製」銘　景德鎮官窯
清時代・乾隆年間（1736～95）
Vase with design of "One Hundred Deer" in *fencai* overglaze enamels, Qing dynasty, Qianlong mark and period

《茶葉末釉双耳壺》「大清雍正年製」銘　景德鎮官窯
清時代・雍正年間（1723～35）
Vase in shape of ritual bronze *Hu* with tea-dust glaze, Qing dynasty, Yongzheng mark and period

関連イベント

キュレーターズ・ダイアローグ「中国陶磁の魅力を語る」
出光美術館学芸課長・徳留大輔氏をゲストにお迎えし、本展担当学芸員の山田正樹と、静嘉堂コレクションの中国陶磁や中国の窯址発掘・研究の最新情報について熱く語ります。

［日時］11月12日（日）14時～
［会場］明治安田ヴィレッジ・明治安田ホール丸の内
（明治安田生命ビル低層棟4Ｆ）
［定員］150名
［参加費］無料（ただし当日の入館券が必要）
［お申込方法］詳細は当館ホームページでお知らせいたします。

音声ガイド

ナビゲーター　窪田涼子さん（ナレーター）
ご利用料金　1名様1台600円（税込）

次回展覧会
ハッピー龍イヤー！～絵画・工芸の龍を楽しむ～
2024年1月2日（火）～2月3日（土）

［交通案内］ ※当館に専用駐車場・駐輪場はございません。
■地下鉄千代田線 二重橋前（丸の内）駅 3番出口直結
■JR東京駅 丸の内南口より徒歩5分／JR有楽町駅 国際フォーラム口より徒歩5分
■大手町・丸の内・有楽町を結ぶ無料巡回バス「Marunouchi Shuttle」で「丸の内マイプラザ」下車すぐ

静嘉堂@丸の内
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館1階
TEL 050-5541-8600（ハローダイヤル）
https://www.seikado.or.jp